

西日本豪雨災害における学生ボランティアチーム派遣プロジェクト 一次報告 ～呉～

平成30年7月31日

報告者：NPO法人IMAGINUS 学生チーム

プロジェクト全体概要

7月5日に発災した西日本豪雨災害について、当団体は、OPERATIONつながりとの連携・広島大学による支援のもと、①ニーズ調査活動、②ボランティア派遣活動、③ボランティアセンター運営活動で、被災地支援活動の初動・立上げを実施。

本資料では、今後も引き続き支援が必要且つ、学生が中心となって包括的支援を実施している呉における活動について報告を行うもの。

活動概要

活動期間：7月7日～現在 活動地：呉市（安浦）

※下線：広大からの支援部分

日程	被災地状況【課題】	活動詳細
7月7～10日	フィールド調査【資機材不足】	<ul style="list-style-type: none">・大学への支援依頼・資機材・物品の確保・小規模ボランティア活動開始
7月11～13日	呉市中央ボラセンの立ち上がり【@安浦 支援不行き届き】	<ul style="list-style-type: none">・遠方地サテライトの運営コンサル・協力団体との連携・調整・派遣ボランティア募集・調整
7月14～16日	<ul style="list-style-type: none">・ボランティア対応・分配【運営標準化】【ボランティア不足】・情報整理【運営オペレーション見直し】	<ul style="list-style-type: none">・ボラセン運営33(ボランティア全体：800名)・<u>学生ボランティアバス：95名</u>・他団体コーディネート:70名(体育会・COCO)
7月17～22日	<ul style="list-style-type: none">・@安浦 ニーズマッチング【自治会連携】・@音戸 ボランティア受入難航【支援不行き届き②】	<ul style="list-style-type: none">・ボラセン運営12(ボランティア全体：500名)・<u>学生ボランティアバス：61名</u>・他団体コーディネート:5名(東北大学・神戸大学 等)
現在	ボランティア不足【広報強化】	<ul style="list-style-type: none">・8月～9月活動を検討・準備

今後の活動計画

重点1 **夏休みにおける広大ボランティア派遣の継続実施**（～9月末まで 計画：50名（バス1台往復にて）×40日）

→個人宅内・庭等、狭く重機が入れない場所においてボランティアが必要。二次・三次被害回避のための早急な復旧活動は必須。

重点2（継続）ニーズ調査・マッチングへの支援（小規模派遣。重点1と同時に適宜実施）

→地域の自治会を巻き込んだ体制強化・地域のつながり構築への寄与。



IMAGINUS

《活動写真》



①-1 安浦の被災状況



①-2 音戸の被災状況



② 安浦サテライト ボラセン運営



③ 広大学生 活動状況